



地域防災の現状と対策 W講演会

『震度7の生存確率』 & 『ドクターヘリの現状と地域災害対応』

第1部 『震度7の生存確率』

◇ 講 師：日本防災教育振興中央会 代表理事

仲西 宏之(なかにし ひろゆき)氏

◇ 日 時：2017年2月27日(月) 18:00~19:00(17:30 開場)

◇ 会 場：ALICEホールディングスグループ セミナールーム

東京都中央区銀座1丁目19-13 6階

<主なセミナー内容>

巨大地震発生! その瞬間、どうすれば生き残れるか? 「机の下に隠れる」と助からないって知ってましたか? 東日本大震災、熊本地震、そして先日の鳥取地震。巨大地震が続き、首都直下地震や南海トラフ地震の信ぴょう性が日に日に高まっている。いざ、巨大地震が起きた時、生き延びる妨げになっているのがこれまで教わった地震対策や地震教育の間違いだ。本当に命を守るための行動と考え方を学びます。

<講師プロフィール>

1959年7月19日広島県生まれ。阪神淡路大震災の被災経験から各地の被災地に赴きボランティア活動を行う。10年前の大病をきっかけに 今までの事業を整理し、自然災害からの減災方法について研究を始める。全国に NPO 法人防災教育振興協会の創設を呼びかけ、2015年7月に地域の NPO 法人防災教育振興協会の中央会として一般社団法人日本防災教育振興中央会を設立し、将来の防災教育産業の担い手を育成している。



第2部 『ドクターヘリの現状と地域災害対応』

◇ 講 師：前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科 副部長

町田 浩志(まちだ ひろし)氏

◇ 日 時：2017年2月27日(月) 19:00~20:00

<主なセミナー内容>

阪神淡路大震災の発災当日にヘリ搬送された患者は1名だけであった...その教訓からドクターヘリが日本に誕生し、いまでは災害時のドクターヘリ活動が当たり前になっている。実際にドクターヘリがどのような活動をするか、地域でどのような準備が必要か解説する。

<講師プロフィール>

1975年 札幌生まれ。2000年 北里大学医学部卒業、2008年 前橋赤十字病院 集中治療科・救急科で勤務し 2010年より同副部長。現在、群馬県災害医療サブコーディネーター。



◇ マスター・CRO・シニア会員・学生会員 ...無料

◇ 法人会員 ...無料(5名様まで) ◇ 特定会員...2,000円(税込)

◇ 一般会員/会員紹介 ...2,500円(税込) ◇ 非会員 ...5,000円(税込)

☆参加費につきましては、当日受付にてお支払いください。☆当日会場でのテープ録音・ビデオ撮影はお断りしております。

【後援】 創新ネットシティ/PinkcrossProject 実行委員会/

セミナー参加費

FAX: 03-6700-0966

※ご記入いただいたデータは、参加申込手続処理、オープンセミナーなど当協会関連の今後のセミナー・講座のご案内ならびにリスクマネジメント情報提供のために使用いたします。

お名前									紹介者		
会員種別	マスター	シニア	特定 (BCM	RC	リスク診断士)	一般会員	法人会員	非会員			
e-mail アドレス					連絡先	TEL :					
					TEL & FAX	FAX :					